



# デメテ - ル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.28

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2003.冬

デメテ - ルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



(写真は平成11年度のものです)

## 第51回群馬県理科研究発表会優秀作品展示

開催期間 平成15年12月12日(金)~平成16年1月12日(月)

今年で第51回を迎えた群馬県理科研究発表会が群馬大学教育学部を会場にして、11月23日(日)に行われました。この研究発表会は、群馬大学教育学部の協力のもと群馬県小学校中学校高等学校理科教育研究会が主催して行ってきました。県内の小学校、中学校、高等学校の児童や生徒が一年間研究した成果を持ち寄って発表するものであり、群馬の理科教育の中でも最も伝統があります。例年300点近い質の高い研究が発表されている行事で、今年も小学校

203点、中学校58点、高等学校33点の研究が発表されました。

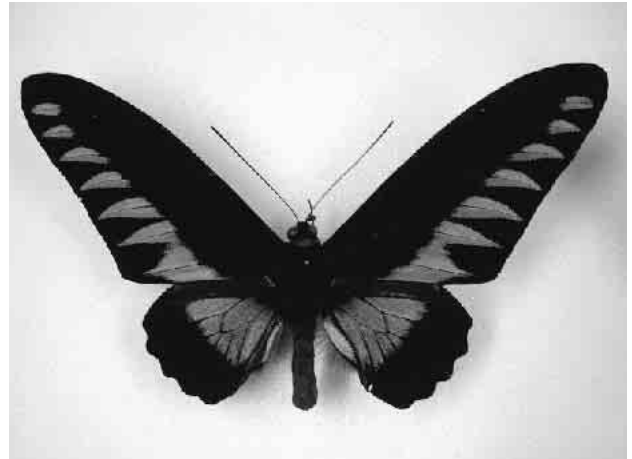
今回、博物館で展示する研究は、模造紙を用いて発表する小学校と中学校の作品のみです。展示数は各発表会場で入賞した小学校20点と中学校15点の計35点です。なお、企画展示室通路を無料ゾーンとして展示しましたので、群馬の子どもたちの理科研究にかける努力とその成果をご覧ください。

(総務普及グループ 三田照芳)

アカエリトリバネアゲハ *Trogonoptera brookiana*



Cコーナー 博物学者の部屋 実験室



アカエリトリバネアゲハのオス

当館の常設展示室には、約400頭（水生昆虫は含まず）の昆虫が展示されています。2階のCコーナーには90頭が展示してあります。ここでは「博物学者の部屋」という展示コンセプトから、各昆虫についての説明はありません。今回はそのうちのアカエリトリバネアゲハについて紹介します。

アゲハチョウ科のチョウ類は、熱帯を中心に約580種が知られています。属名の*Trogonoptera*は中米のキヌバネ鳥に、種小名の*brookiana*は当時ボルネオ島のサラワクを統治していたジェームズ・ブレークにちなみます。和名では首の赤い襟からアカエリトリバネアゲハと呼ばれています。分布は東南アジアのマレー半島、スマトラ島、ボルネオ島です。アカエリトリバネアゲハのからだはチョウの中では特に大きく、一回の羽ばたきで1m近くも上昇しますが、速度は速くありません。オスは黒地の翅に三角形の鮮やかな緑の紋が並び、メスは翅が茶色で白点の列が現れます。

アゲハチョウ科の幼虫は食べる植物が決まっています。アカエリトリバネアゲハの場合はウマノスズクサです。吸水性が高く、発生のピークにはオスは川岸や砂地で100頭を超える大吸水集団をつくることもあります。1885年、博物学者ウォーレスがボルネオ島で初めてこのオスを発見しました。しかし、メスは採集することができませんでした。著書『マレー諸島』に「今まで知られている種類との共通点がないのでメスとオスが似ているかどうか想像するこ



アカエリトリバネアゲハのメス

ともできない。」と記しています。オス1000頭に対してやっとメス1頭が得られたとさえ言われました。メスの存在は長い間なぞに包まれていました。後になってアカトリバネアゲハの生態が判明してくると極端な性比は、習性の違いによる見かけだけのことであることが明らかになりました。メスは標高の高い尾根沿いの樹上の花に、蜜を求めて集まることが分かりました。食草のウマノスズクサが巨木にからみつき、葉は上部にしかないので幼虫の発見も難しく、生活史が明らかにされたのは最近のことです。

(学芸グループ 高橋克之)

# 図書室

自然史博物館のバックヤードには、図書室があります。一般の図書館と違って、収蔵されている図書は自然史に関するものがほとんどです。書棚ごとに「人類」「動物」「植物」「生物一般」「古生物・化石」「地球科学」「天文・宇宙」「環境」に分類され、さらに「県市町村関係の出版物」「他の博物館の図録」「学会誌」も数多く収蔵されています。蔵書数は約3万冊です。書籍の他には地形図、植生図、自然に関するポスター、ビデオ（宇宙、野生動物、植物、恐竜、化石、アニメ等）があります。

主に学芸グループの職員が、研究や企画展の準備のために利用しています。また、解説員もよりわかりやすい解説ができるように、図書室を活用しています。

図書の入手方法は、2つあります。1つは購入で、毎月約60種類の雑誌をはじめ、単行本を購入してい

ます。

もう1つは寄贈で、個人からの寄贈と、全国博物館等からの出版物寄贈交換があります。多いときは、1度に5000冊を超えることもあります。

図書室に保管される書籍は、博物館情報システムに入力されます。この中には登録・検索システムが入っており、ホームページで検索することができます。



図書システム



雑誌棚



寄贈図書



書架

ビデオは、土・日曜日に、学習室で午前11時から午後2時からの2回無料で上映されています。

図書室は、週に2日ほど一般公開されています。木曜日と土曜日の午前10時から12時までと午後2時から4時の間の利用です。ご希望される方は、事前に申し込みが必要となりますので、お問い合わせの上お越しください。

(学芸グループ図書担当 宮下喜美子)



当館には、口径40cmの天体望遠鏡が設置されています。この望遠鏡と移動式の望遠鏡、天体観測用の双眼鏡などを使用して、天体観望会を行っています。講師には県内で活躍されている方をお願いし、詳しく学習できるとともに、楽しんでいただけるようになっています。しかし、天候だけは思うようにならないため、観望できない場合には、観望会のテーマに関連した講師に講演をお願いしています。

来年度は天文イベントの少ない年ですが、秋～冬季を中心に4回の観望会を予定しています。1人でも多くの方に参加していただけるよう、1電話で1家族のみの申し込みとさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

みなさまのご参加をお待ちしております。



申し込み方法：1ヶ月前の午前8:30から電話で

0274-60-1200

(総務普及グループ 野村正弘)

## インフォメーション (1月～3月の予定)

第21回企画展「地球の贈りもの鉱物資源」 3月20日 ~ 2004年5月9日

1月

1日 ~ 3日 年始休館

18日 自然教室「自分の歯型をつくろう」

24日 天体観望会「天体写真教室 月の撮影にチャレンジ」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「3Dミュージアム」

27日 ~ 29日 資料整理休館

2月

8日 自然史講座「自然破壊と自然愛」

14日 天体観望会「天体写真教室 惑星(木星)の撮影にチャレンジ」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「三葉虫のレプリカをつくろう」

3月

5日 ~ 7日 移動博物館(会場:ぐんまこどもの国児童会館)

20日 ~ 5/9日 企画展「地球の贈りもの鉱物資源」

28日 企画展記念講演会「資源の現状と未来(仮題)」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「動物の足跡スタンプをつくろう」

### 利用案内

開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)

観覧料 3月20日～2004年5月9日の企画展開催中は一般600円(480円)、高校・大学生300円(240円)  
中学生以下・障害者及びその介護者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

### 凡例

- 自然教室
- 天体観望会
- ファミリー自然観察会
- 自然史講座
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み

### 休館日

○印の日は休館いたします。

1月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	①	②	③
4	5	6	7	8	9	10
11	12	⑬	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	23	24
25	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	21
22	⑳	24	25	26	27	28
29	・	・	・	・	・	・

3月

日	月	火	水	木	金	土
・	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	23	24	25	26	27
28	㉑	30	31	・	・	・

